

事業概要：二地域居住を核とした持続可能な住まい・なりわい・交流循環創出事業

申請者	宮城県石巻市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	239,049千円 (51,091千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	交流人口の拡大を入口として関係人口及び二地域居住者を創出し、地域産業への参画を促進することで、担い手不足及び労働力不足の補完を図る。あわせて、空き家等を活用した滞在拠点の整備を通じ、都市部人材の受入環境を構築する。これにより、地域内消費及び投資の誘発を促進し、人口減少局面においても地域経済活動の維持につなげる。さらに、地域活動への参画を通じ持続可能な地域運営体制の形成を図る。滞在・体験・就業・居住の各段階を一体的に支援する仕組みを構築することで付加価値を生み出し続ける持続可能な地域経済モデルの実現を目指すものである。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 交流人口の拡大を図るため、地域資源を活用した体験プログラムの造成・実施や関係人口創出に向けた情報発信の強化を行う。あわせて、二地域居住者及び関係人口の地域産業への参画を促進するため、副業・兼業人材の活用や地域事業者とのマッチング支援を実施する。また、空き家や既存住宅ストックを活用した滞在拠点の整備を進め、中長期滞在及び就業活動が可能な受入環境を構築する。さらに、AIサイト等を活用した相談・情報提供機能を整備し、交流から居住・就業への移行を一体的に支援する。					空き家を活用した滞在拠点 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地方創生推進アドバイザーの選任（報償費等）1,140千円 ・相談窓口設置業務委託料（委託料） 10,373千円 ・AIサイト構築・運営（委託料） 33,000千円 ・交通データ分析（委託料・利用料） 2,178千円 ・公営住宅の空き住戸を活用した体験施設整備（備品購入） 1,400千円 ・二地域居住拠点（コワーキングスペース）整備（補助金） 3,000千円					林業体験 漁業体験 農業体験 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①交流人口（+30万人） ②法人市民税調定額（±0円） ③空き家・空き住戸再生数（+11戸） ④AIサイト閲覧数（90,000PV）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公開予定